

令和4年度

地方独立行政法人福岡市立病院機構に
係る業務実績に関する評価結果報告

福 岡 市

報告第35号

地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る業務実績に関する評価結果報告

地方独立行政法人法第28条第5項の規定により、地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る令和4年度の業務の実績に関する評価結果について報告する。

令和5年9月1日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
1 福岡市立病院機構の概要	13
2 全体的な状況	15
3 項目別の状況	22
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	22
2 患者サービス	50
3 医療の質の向上	64
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	80
2 事務部門の機能強化	82
3 働きがいのある職場環境づくり	84
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	88
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 持続可能な経営基盤の確立	90
2 収支改善	96
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	112
2 福岡市民病院における経営改善の推進	116
第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	120
第6 短期借入金の限度額	123
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	123
第8 剰余金の使途	123
第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項	124
参考資料	125

はじめに

福岡市は、地方独立行政法人法第28条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の令和4年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会において、評価に関する意見を聴取し、平成30年6月22日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員長	松 浦 弘	福岡市医師会 副会長
副委員長	福 田 治 久	九州大学大学院医学研究院 准教授
委 員	藤 也 寸 志	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 院長
	大 和 日 美 子	福岡県看護協会 会長
	行 正 晴 實	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

第4期中期目標期間の2年目である令和4年度の業務実績に関する評価については、小項目評価の結果を踏まえ、第1の大項目評価は「評価 A」、第2から第4までの大項目評価は「評価B」となる。

この大項目評価の結果を踏まえ、また、両病院ともに、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の感染拡大に対して、市立病院としての役割を果たしながら、病院機能を可能な限り維持しつつ、医療水準の更なる向上を目指し、医療機能の強化や経営の効率化等に取り組んでいることなどから、令和4年度の業務実績は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

福岡市立病院機構は、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となり、経営管理の徹底を図っている。

福岡市立こども病院においては、「福岡県新型コロナウイルス感染症重点医療機関」として、小児のコロナ患者の受入に積極的に取り組むとともに、これまで培ってきた小児医療及び周産期医療の更なる充実を図るなど適切に対応している。

福岡市民病院においても、「福岡県新型コロナウイルス感染症重点医療機関」として、引き続き福岡市におけるコロナ対策の中核的な役割を果たしつつ、4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療及び高度救急医療の更なる充実を図っている。

経営収支面では、コロナ禍の影響等による厳しい経営環境の中、両病院ともに高度医療の提供に着実に取り組むとともに、価格交渉の徹底等による費用削減にも取り組んでおり、また、コロナ対策に関する国や県からの補助金の交付などもあり、市立病院機構全体で16億1,400万円余の当期純利益を確保している。

全体評価にあたって考慮した内容

〈特筆すべき取組〉

〈福岡市立こども病院〉

- ・ 小児のコロナ患者を積極的に受け入れるなど、市立病院としての役割を果たした。
- ・ 臨床研究や治験業務に積極的に取り組むなど、小児・周産期医療の発展に寄与する取組を行った。
- ・ 循環器集中治療科やこどもアレルギーセンターを新設するなど、診療機能の充実に努めた。

〈福岡市民病院〉

- ・ コロナへの対応について、令和3年度に引き続き中等症以上の患者を中心に積極的に受け入れ、また、感染症対策としてICIC(感染対策情報発信センター)による情報提供や、関係機関と合同で感染対策訓練を行うなど、市立病院としての役割を果たした。
- ・ 脳卒中相談窓口の開設や、救急受入体制の強化など、診療機能の充実に努めた。

〈両病院〉

- ・ 地域の医療機関との連携強化に努めた。
- ・ コロナの診療に積極的に取り組む中、コロナ以外の診療についても、医療資源の柔軟な活用等により、市立病院に求められる医療を途切れさせないように努めた。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・ コロナの影響下で、市立2病院がこどもの医療や感染症医療等に大きな貢献をしてきたことが改めて確認でき、積極的に評価したい。
- ・ 令和4年度もコロナの影響があり、両病院が積極的にその対応に取り組んできたことは理解できるが、そのことによって目標未達成の全てがやむを得ないこととなるわけではなく、その原因を精緻に探る必要がある。
- ・ コロナの影響等については見込みが困難な面もあるが、極力、実状を踏まえた適正な目標設定を行うよう努めてもらいたい。
- ・ 評価にあたっては、客観的データ、特にアウトカムの指標が重要であり、病院機構も積極的に活用してもらいたい。
- ・ 今後の経営においては、アフターコロナの状況を踏まえた対応が重要。

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 A (計画以上に進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある(特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる(100%以上 120%未満)	やや遅れている(100%未満)	重大な改善すべき事項がある(特に認める)
【 120 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て				
両病院ともに、高度専門医療等における診療機能の充実を図り、地域医療への貢献と医療連携を積極的に進めるとともに、感染症等への対応に積極的に取り組んだ。多数の項目で目標を上回る成果を上げており、計画以上に進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目		評価	ウエイト	ウエイト換算	
1 医療サービス	(1)良質な医療の実践	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2)地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(3)災害・感染症等への適切な対応	こども病院	5	2	10
		市民病院	5	2	10
2 患者サービス	(1)患者サービスの向上	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
	(2)情報発信	こども病院	3	1	3
		市民病院	3	1	3
3 医療の質の向上	(1)病院スタッフの計画的な確保と教育・研修	こども病院	3	2	6
		市民病院	4	2	8
	(2)信頼される医療の実践	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
合計			26	a 94	
標準点(※全ての小項目評価が3)			b 78		

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1-(1) 良質な医療の実践 ア福岡市立こども病院」

○ 目標値はほぼ全ての項目で達成しており、また、「循環器集中治療科」や「こどもアレルギーセンター」を新設するなど、小児総合医療施設として求められる役割を果たすべく診療機能の充実を図っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ア福岡市立こども病院」

○ 目標値はほぼ全ての項目で達成しており、特に逆紹介率については目標値を大幅に上回っている。また、Webを積極的に活用したオープンカンファレンスや研修会等の開催や退院前後の訪問指導の実施など、地域医療への貢献や医療連携の推進を図っており、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ福岡市民病院」

○ 目標値はほぼ全ての項目で達成しており、特に紹介率・逆紹介率については目標値を大幅に上回っている。また、特定行為研修による外部看護師の育成や、多職種連携による在宅療養支援の充実など、地域医療への貢献や医療連携の推進を図っており、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応 ア福岡市立こども病院」

○ コロナのいわゆる第7波に際しては、急増する小児患者について、市の要請も踏まえ、休日診療体制を整備するなど積極的に対応し、また、重症度の高い患者の受入れにも積極的に対応し多くの救急搬送患者を受け入れるなど、市立病院としての役割を果たしたことを積極的に評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。

「1-(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応 イ福岡市民病院」

○ 目標値は全ての項目で達成したほか、前年に引き続きJMAT(日本医師会災害医療チーム)活動や市が実施する転院支援事業に積極的に取り組んだことに加え、感染症対策としてICIC(感染対策情報発信センター)による情報提供や、関係機関との合同での感染対策訓練の実施、院内クラスターが発生した地域の医療機関への指導助言など、地域全体での感染症対策の質向上に向けて取り組んだことを積極的に評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。

「3-(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修 イ福岡市民病院」

○ 医療の質向上研修受講率はWeb研修を活用するなど実施方法を工夫した結果100%に達しており、また、人材確保の観点からも職場環境づくりに取り組んだ結果、看護師の離職率が県内の離職率の平均値や全国公立病院の離職率の平均値より低い値で推移しているなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

- ・ 両病院ともに救急搬送件数が増加しているのは、小児のコロナ患者や、コロナにより地域の医療機関で受入困難となった患者等を積極的に受け入れた結果であり、高く評価できる。
- ・ 感染症への対応については、市と十分に連携を図って取り組んでもらいたい。
- ・ オープンカンファレンス等を積極的に行っており、実際の参加人数も増加していることは高く評価できる。
- ・ 市民病院のホームページへのアクセス数の減少理由を、採用情報が機構本部のサイトへ移動したこととしているが、本来この項目での情報発信は患者サービスの向上に関することであり、患者サービス向上の視点から改善策の検討に努めるべき。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B (おおむね計画どおり進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 100 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て				
地方独立行政法人の特長を生かした自律的・機動性の高い病院経営が行われている。働きがいのある職場環境づくりにも積極的に取り組むとともに、法令に基づき内部統制も適正に維持されていることから、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	3	1	3
2 事務部門の機能強化	3	1	3
3 働きがいのある職場環境づくり	3	1	3
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	3	1	3
合計		4	a 12
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

特になし。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

- ・メンタルヘルス等の面談を積極的に実施していることは評価できる。育児支援制度を新設しているが、それらの制度を職員が取得しやすい環境とすることも重要。
- ・医師の働き方改革への対応は喫緊の課題であり、適切な取組を進める必要がある。
- ・今後より一層人材確保が難しくなることが予想され、離職防止、定着促進の重要度が増す。エキスパートの育成とともに、一般職員のリスクリング等を含めた職員のキャリアアップや、セカンドキャリア等定年退職以降も含めた働きがいのある職場環境づくりに向け、検討を進めてもらいたい。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B（おおむね計画どおり進んでいる）

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 100 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て				
両病院とも増収対策や費用削減に取り組み、また、コロナ対策の取組による国や県からの補助金が交付された結果、当期純利益を確保しており、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目		評価	ウエイト	ウエイト換算	
1 持続可能な経営基盤の確立	(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
	(2) 投資財源の確保		3	1	3
2 収支改善	(1) 収益確保	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
	(2) 費用削減	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
合計			13	a 39	
標準点(※全ての小項目評価が3)			b 39		

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

特になし。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

- ・ 目標値と実績値の乖離が大きな項目については、その理由について、より丁寧に分析する必要がある。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B（おおむね計画どおり進んでいる）

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 117 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て				
福岡市立こども病院においては、医療機能の充実を図るとともに、臨床研究や治験業務などで順調な成果を上げていること、また、福岡市民病院においては、地域連携や高度医療の推進、コロナ対策などにおいて、求められる役割を果たしていることから、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	4	2	8
2 福岡市民病院における経営改善の推進	3	2	6
合計		4	a 14
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1 福岡市立こども病院における医療機能の充実」

○ 循環器集中治療科の新設による重症集中治療系医療体制の拡充や、臨床研究や治験への積極的な取組など、小児総合医療施設として求められる役割を果たすべく医療機能の充実を図っており、またコロナの感染拡大時における小児感染症医療の提供体制の確保に努めたことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

・ 両病院ともに、おおむね令和3年度と同様の成果を上げているものと思われる。

(2) 小項目評価
別紙のとおり

